

ゆい! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第57号

2022/1/4発行

特集 新しい学力観 (～学習指導要領の改訂～)



CONTENTS

- ・宮古島市歴史文化資料館



パニパニスクール

- ・結の橋学園 (伊良部島小中学校)



みゅーじあむニュース

- ・「子ども博物館講座」



連載 文化財を巡る

- ・『比屋地御嶽と赤良友金信仰』



Topics

- ・COT協進、(有)アプロ バガス紙寄贈
- ・オーディフ寄付金贈呈
- ・宮國前教育長 地方教育行政功労者表彰
- ・安谷屋昭氏 地域文化功労者表彰



新しい学力観(～学習指導要領の改訂～)



○新学習指導要領の改訂が行われ、小学校が令和2年度から、中学校が令和3年度から完全実施となりました。学校現場では児童生徒の「3つの資質能力」の育成に向けた取組が始まっています。前号では「全国学力・学習状況調査」の結果概要をお知らせしましたが、引き続き学校教育に関する取組をシリーズ化して、お伝えしていきます。

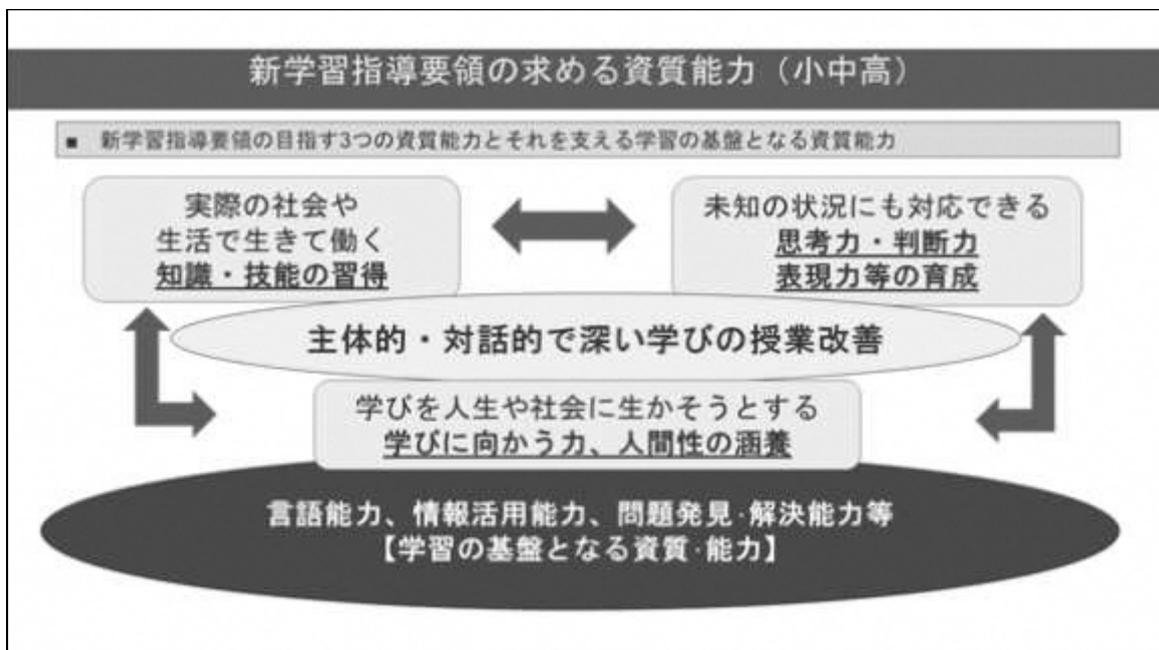
■ 1 学習指導要領の改訂（小学校:2020年度～、中学校:2021年度～、高等学校:2022年度～）

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

※「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度、改訂しています。子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。（文部科学省HPより）

■ 2 新学習指導要領の目指す3つの資質能力

（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力、人間性の涵養）



本市においても、3つの資質能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の授業改善及び、カリキュラムマネジメント（教科横断的な教育課程の編成等）の確立、そしてGIGAスクール構想による教育活動の質の向上と更なる学習効果を図ります。

■ 3 新学習指導要領の改訂による新たな取り組み及び重視すること等

(1) 教科化された内容等

【小学校】外国語科(5・6年)、外国語活動(3・4年)、特別の教科道徳

【中学校】特別の教科道徳 ※高校においてはR4から「理数・総合的な探求の時間」が新設

(2) 特色ある取組

「プログラミング教育」、「言語能力の育成」、「伝統や文化に関する教育」、「キャリア教育」、「主権者教育」、「消費者教育」、「SDGs教育」等、社会に開かれた多様な教育課程の実施。



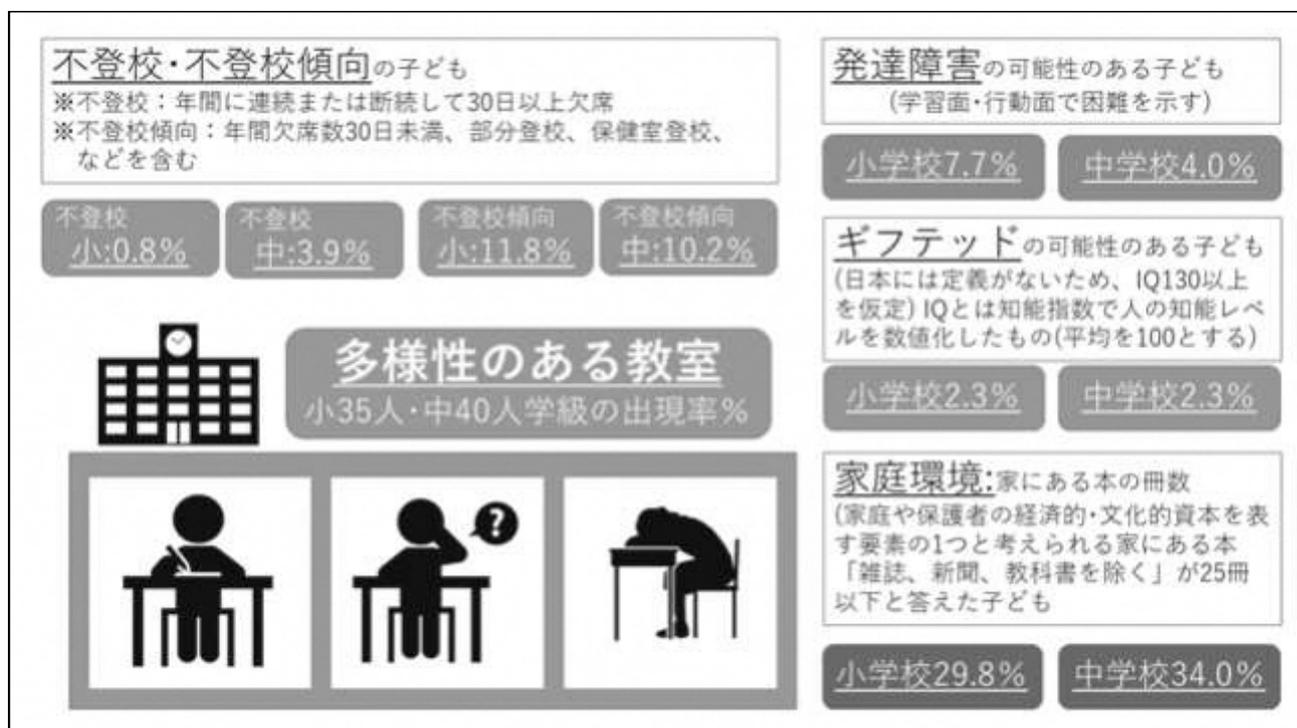
教室の中の多様性を踏まえた授業改善



○時代の変化に伴い、多様な子どもたち一人一人への対応が求められるようになってきた。学校においては、これからの社会が求める資質能力の育成を図るため、多様な子どもたちの学びの保障に向けて、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいるところである。

■ 4 教室の中にある多様性

下の図は、小学校35人学級・中学校40人学級内における「不登校・不登校傾向の子ども」、「発達障害の可能性のある子ども」、「ギフテッドの可能性のある子ども(IQ130以上の子ども)」、「家庭環境：家にある本の冊数(25冊以下の子ども)」の全国平均的な出現率を表したイメージ図である。このような状況がある場合、教師一人で子ども一人一人への対応は困難である事から、誰一人とり残さない学びの保障に向けては、学校のチームとしての対応と多様な子どもたちの学びに向かう主体性を生かした授業改善が求められる。



【資料】 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官 合田哲雄氏の資料をもとに作成

【出典】 ・通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(平成24年12月：文部科学省)

- ・令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)
- ・不登校傾向にある子どもの実態調査(日本財団)

■ 5 まとめ

本市の目指す子ども像は、「宮古の自然や文化に誇りを持ち、国際化時代をたくましく生きる、創造性に溢れた明るい子」です。小・中学校の教育課程の実施において、地域の物的・人的資源を多いに活用した多様な学びが必要であることから、ぜひ地域・保護者のご理解とご協力をお願いします。



紹介

宮古島市歴史文化資料館

宮古島の歴史、民俗文化、自然科学その他文化財等に関する調査研究を行い、その成果を市民に還元するとともに、国指定重要無形文化財である宮古上布に関する技能継承を支援することを目的として、10月1日に城辺砂川に宮古島市歴史文化資料館が開館しました。

資料館は、旧砂川中学校の校舎を利用しており、埋蔵文化財資料室や、市史編さん室のほか、宮古上布保持団体や宮古芋麻績保存会の作業場や、展示室、講座室も設けられています。



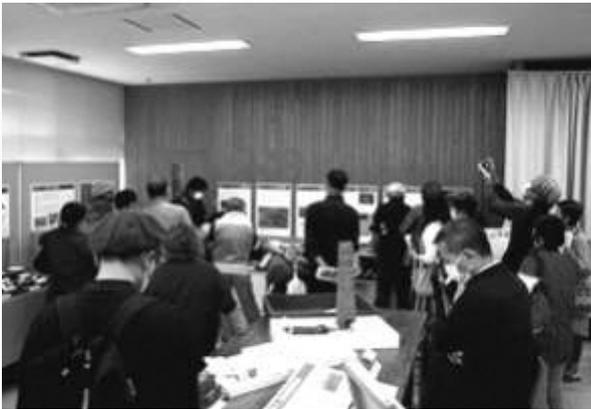
【主な施設の紹介】



講座室。収容人数は30人。文化講座などで利用しています。



宮古諸島で確認されている芋麻の種の保存を行っています。



展示室。年に2～3回の企画展を行います。見学は無料です。



埋蔵文化財資料室。遺跡から出土した資料の整理作業を行っています。

展示会『海の帝国琉球と宮古』

12月13日から2月4日までの会期で展示会『海の帝国琉球と宮古』が開催されます。

これまでの発掘調査の成果をもとに14世紀から16世紀までの宮古諸島の文化の変遷について考えていきます。

入館料は無料です。

宮古島市歴史文化資料館 〒906-0108 宮古島市城辺字砂川599 TEL: 0980-77-4506

会館時間：午前9時～午後4時半（土・日・祝祭日は閉館です）＊見学できるのは展示室のみです。



パニパニ☆スクール

今回のパニパニ☆スクールは結の橋学園(伊良部島小中学校)を紹介します！

結の橋学園(伊良部島小中学校)

寒露の時期になると、伊良部島にはサシバの大群が飛来します。そこで、本校では、10月を「サシバ保護月間」として、国際保護鳥であるサシバ保護意識を高める取組を実施しています。

サシバを守るために各学級で作成した「サシバ保護の誓い」、児童生徒全員が参加した「サシバ俳句コンテスト」、結の橋学園のサシバ保護の活動を報告した「国際サシバサミット2021宮古島」への5年生の参加、6・7年生による「サシバ飛来数調査」、児童生徒会執行部が参加した「サシバパトロール出発式」などです。

サシバ保護月間の取組を通して、サシバを守るために何ができるかをしっかりと考え、行動へつなげるようとする意識を高めることができました。

＜サシバパトロール出発式 児童生徒代表の言葉＞

私たちの住む伊良部島では、「サシバはともだち！サシバを守ろう！」を合い言葉にサシバを保護する取組が行われています。結の橋学園でも、伊良部中学校の伝統であった、サシバ保護月間を受け継ぎ、毎年10月をサシバ保護月間として、サシバ保護活動に取り組んでいます。

近年、伊良部島でも海岸沿いの建設ラッシュによって、緑が少しずつ減っている様子があります。そのことにより、サシバが休息できる場所や他の動植物に影響がでているように感じます。

サシバが安心して休息できる伊良部島をつかっていくため、私達がサシバの環境保全に真剣に取り組まなければならないと思います。

「サシバはともだち！サシバを守ろう！」この言葉を胸に、保護活動に取り組んでいきましょう。

誓いの言葉



国際サシバサミット2021宮古島



サシバパトロール出発式



宮古島市総合博物館



みゅーじあむニュース



即興歌を作ろう！歌おう！ 「子ども博物館講座」再開!!

11月21日(日)、市総合博物館で2年ぶりに子ども博物館講座が開催されました。本講座は、市内の小学4～6年生を対象に宮古の自然・歴史・民俗・文化に関する体験学習をとおして郷土について学ぶことを目的に開催されています。例年は、年に6回を実施していますが、前年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全回中止となり、今年度も延期を繰り返して今回ようやく開催することができました。

第1回目の今回は、開講式の後「宮古の古謡を学ぶ ～アーク アスピからはじめよう～」と題し、

みんようつだしや よなしらみわ

講師に民謡唄者である與那城美和さんを講師に招いて宮古の古謡について学びました。宮古の古謡の特徴の一つに即興歌が多いということから、参加した受講生たちはグループに分かれての即興歌の作詞など、初めての体験を楽しんでいました。

また、「宮古の古謡にはどんな意味があるのかなどもっと知りたくなりました。」や「小さいころ歌っていた曲を方言で歌ったり、即興で歌ったりする経験はとても貴重ななと思いました。」などの感想も寄せられました。



文化財を巡る

『比屋地御嶽と赤良友金信仰』

No.52



比屋地御嶽は伊良部島東部の牧山付近にあり、伊良部島で最も歴史ある御嶽の1つです。比屋地御嶽は宇伊良部で古くから信仰されており、伊良部の分家集落である仲地や、牧山から最も近い佐良浜からもツカサシマが送られ、三集落参加による祭祀が行われてきました。

祭神の赤良友金(アカラトモカネ、アカラトモガニ)は宮古島における金殿(カニドノ)に相当する鍛冶神・農耕神の性質を持った神であり、この比屋地御嶽の他、宇伊良部のナカドゥイ御嶽、宇仲地の根原御嶽、宇国仲の嵩原御嶽、宇長浜の腕山御嶽の南区4集落で豊年祭(ユークイ)の祭神として祀られています。鍛冶の神であることから、鎌や鋏、鋤といった農耕具とも密接な関わりがあり、転じて五穀豊穡にも通じるものとなりましたと考えられています。

赤良友金の由来は、かつて久米島から比屋地(現在の牧山周辺)に流れ着いた赤良友金兄弟が鍛冶技術を伊良部島の住民に伝え、島を発展させたことから称えられました。兄弟のうち、兄は八重山に渡り於茂登岳の神となり、弟は伊良部島に残り、比屋地に祀られました。これが比屋地御嶽の起源であるとのこと。

また、島外からの渡来人であることも含め、航海に關する逸話も多く、洪武23年(1390年)の与那覇勢頭豊見親中山朝貢の際に、赤良友金が砂川船の船頭を務めた話や、比屋地御嶽の脇神として祀られている豊見氏親(うずのしゅう)が大鎌退治の際に、比屋地御嶽に祈願した話も伝わっており、伊良部島における古い伝承が残る地として知られています。

宇伊良部が祀る御嶽として知られる比屋地御嶽ですが、集落からかなり離れた場所に位置しており、宇伊良部内ではなく池間添地内に位置することから佐良浜地区由来の御嶽と誤解されることもあり、この立地については集落の遷移が大きく関わっています。比屋地(現在の牧山周辺)は伊良部に人が移住した最初の地ともいわれており、ヤマトブー大岩を目印に渡来した人々が定住したとされる集落の跡が、現在でもヤマトブー大岩付近に残っており、比屋地にいた人々が伊良部元島へと移動して行き、現在の宇伊良部へと最終的に落ち着いたといわれております。比屋地御嶽が、宇伊良部が祀る御嶽でありながら、集落と離れているのは、こうした事情によるものです。

以上のような理由から、比屋地御嶽はヤマトブー大岩と並ぶ伊良部の歴史を原初から支え続けた文化財であるとともに、特に宇伊良部にとっては移動を続ける集落から遠ざかりながらも信仰を継続し、現在に至ります。赤良友金はユークイの祭神として南区4集落で祀られるまでになり、南区とは別の起源を持つ佐良浜地区からも信仰されるなど、島内で広く信仰を集めています。



TOPICS

(有)COT協進 (有)アプロ バガス紙寄贈

10月29日(金)、(有)COT協進 友利正治代表と、(有)アプロ 宮城敏郎代表よりバガス紙の寄贈があり、市教育委員会にて贈呈式が行われました。

贈呈式で友利代表は「エコアイランド宮古島で、循環型社会を目指している中でこのような形でご協力できることはうれしく思います。」と話しました。

宮古製糖伊良部工場のバガス(サトウキビの搾りかす)を使用した紙で作った卒業証書用の紙1,200枚は、来春の小・中学校の卒業式で使われる予定です。



オーディオ寄付金を贈呈

11月16日(火)、学校給食共同調理場の平良調理場調理業務の受託業者オーディオ 村野勝子社長(本社浦添市)より、子育て支援の協力として寄付金の贈呈がありました。村野社長は「子どもたちの育成活動に協力できたことをうれしく思う」と話しました。



宮國博前教育長に文科大臣など表彰

宮國博前教育長に対し文部科学大臣より地方教育行政功労者表彰が贈られ、11月30日に座喜味市長より伝達表彰が行われました。

地方教育行政功労者表彰は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員等を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とした表彰です。宮國前教育長は平成21年の教育委員就任から令和3年に教育長退任するまで11年間の功労が評価され表彰されました。

また、九州都市教育長協議会表彰伝達も同時に行われ、大城教育長より表彰状が手渡されました。

座喜味市長は、「11年間、教育行政に取り組み、頑張ってこられた。学力向上や学校教育のICT化、学校規模適正化などを推進し、教育環境を整えた功績を高く評価し、感謝する。」と前教育長の功績をたたえました。

表彰状を受け取った宮國前教育長は「在職中は職員に大変無理をさせた。表彰を頂けたのはこれまで一緒に取り組んできた職員の皆さんのおかげです。」と表彰を喜びました。



安谷屋昭氏 地域文化功労者表彰

11月1日、令和3年度地域文化功労者表彰を安谷屋昭さんが受けられました。本表彰は、永年にわたり地域の文化振興に功績のあった個人および団体に対して、その功績を讃えるため、都道府県に推薦を依頼し、文化庁において選考を行い表彰するものです。

安谷屋昭さんは、「島尻断層崖の海食台」、「シマジリクジラ化石」、「ツツピスキアブ」などの文化財指定に携われ、文化財保護審議会や博物館協議会委員を永年にわたってつとめてまいりました。これまでの宮古島の文化財保護行政にご尽力された功績が認められての今回の表彰となりました。



新城久恵教育委員 退任

任期満了に伴い、12月4日をもって、新城久恵教育委員が退任されました。

新城委員お疲れ様でした。

○任期:令和2年6月29日 ~ 令和3年12月4日



前泊直子氏 新教育委員に就任

新たな教育委員に前泊直子氏が任命され、12月6日に市長より辞令が交付されました。

前泊新委員は、旧下地町出身。元教員で、池間小中学校、南小学校の校長を歴任し、2019年3月に定年退職されています。

○任期:令和3年12月5日 ~ 令和7年12月4日



令和3年度教育委員会の開催状況



今回は、お正月クイズです。
正解めがけてチャレンジして
ね！

もらって嬉しい「お年玉」。
この「お年玉」は昔は別の漢字が
使われていました。それは次のう
ちどれでしょ
うか？

- 1.薄とし玉
- 2.音子玉
- 3.御歳魂



前回の答：①

市総合体育館・陸上競技場等利用スケジュールについてお知らせ

- ・市総合体育館 ・市陸上競技場
- ・市多目的前福運動場 ・市多目的屋内運動場
- ・市民球場



<https://miyaspo.net/>



上記市立体育施設のスケジュール・施設使用の詳細・ご利用方法に
ついては直接お問い合わせいただくかホームページ(上記)URLまた
はQRコードにてご確認ください。

(一社)宮古島市スポーツ協会
【第2・第4月曜休み】 ☎73-4469

図書館からのお知らせ

おはなし会予定



宮古島市立図書館

- ・毎週土曜日 15時～
- (1月1日を除く)

城辺分館

- ・1月9日(日) 15時～
- ・2月6日(日) 15時～

※コロナウイルスの影響により予定を
変更または中止する場合があります。
ご了承ください。

○第10回宮古島市教育委員会(定例会)

10月28日(木)開催

下記の議案について審議を行い、1件の議案、2件の
報告について可決・承認されました。

件名	提案理由
宮古島市立図書館運 営規則の一部を改正 する規則について	図書館サービスの向上を図るため、状 況に応じた開館・閉館日の変更や、利 用者への情報提供及びサービスコー ナーの営業が可能となる

・臨時代理処分の報告について(宮古島市教育委員会職員の人
事異動について)

・臨時代理処分の報告について(宮古島市教育ビジョン検討委員会
規則の一部改正について)

○第11回宮古島市教育委員会(定例会)

11月25日(木)開催

下記の議案について審議を行い、5件の議案、2件の
報告について可決・承認されました。

件名	提案理由
宮古島市立学校給食共 同調理場運営委員会委 員の任命について	宮古島市立学校給食共同調理場運営委 員会委員のPTA会長変更及び学校長人 事異動に伴い、新たな委員を任命する 必要があるため
宮古島市成人祝金給付 要綱の制定について	令和3年度新成人者に対し、成人祝金 を給付するためには、成人祝金給付要 項を制定する必要があるため
令和3年度一般会計 (教育委員会)補正予 算第7号予算要求につ いて	令和3年度第9回宮古島市議会(定例 会)に提案する「令和3年度宮古島市 一般会計補正予算(第7号)」に教育 委員会関係予算を計上するため
宮古島市立図書館条例 の一部改正について	宮古島市個別施設計画で、機能廃止が 決定された宮古島市立図書館城辺分館 の民間利用を促進するためには、条例 を改正する必要があるため
下地玄信育英基金条例 の制定について	現職教職員への大学院への入学金及び 奨学金給付事業に、下地玄信育英基金 を活用するには条例を改正する必要が あるため

・砂川地域(城辺地区)における幼保連携型認定こども園への移
行の報告について

・伊良部島こども園、結の橋こども園(仮称)の報告について

子育てや学校生活で悩んでいませんか？

教育相談室では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、
または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎ 79-7819

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】月～金曜日(祝祭日除く)午前8時30分～午後4時30分

【所在地】宮古島字平良字西里1140番地 総合庁舎内

※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)

